

東部営農経済センター一便り 5月号

JA静岡市東部営農経済センター TEL: 245-7527

センター長	女性部	茶	苺・水稻・蔬菜	果樹	購買
海野	大越	深井	山梨・鷲巣	榮	望月・田山・松風・瀧田・森川

茶

【二番茶摘採準備】

一番茶後の遅れ芽を除く程度に浅く摘採面を整える。時期としては一番茶摘採後7~10日程度である。(但し、みる芽摘採を実施した場合は、遅れ芽の発生が著しいので遅れ芽が出揃った時点を見極めて実施する)

【更新】 1番茶摘採後なるべく早く行う。

- ・浅刈り：摘採面から3~5cmの深さで剪枝する。更新効果は、一年程度。
- ・深刈り：摘採面から10~20cmの深さで剪枝する。更新効果は、二年程度。
- ・中切り：地上30~50cmの高さで、幹の太い所で行う。剪枝する枝の太さは、7mm程度である。更新効果は、4~5年程度。

【二番茶不摘採園の管理】

一番茶摘採後、秋整枝まで放任すると翌年の一番茶収量に大きく影響するので上記の更新作業又は、二番茶目が完全に開いた状態で二番茶芽の基部から新梢をすべて刈落として下さい。

【防除】 被害園では、病害虫多発生が予想されますので茶園状況を確認しましょう！

時期	病害虫名	薬剤名	倍数	日数	使用方法
1番茶摘採後	カンザワハダニ チャノナガサビダニ ウンカ、スリップス	アグリメック (劇)	1,000倍	7日	単
若齢幼虫期 (一茶摘採後)	チャノトゲ コナジラミ	ディアナSC	5,000倍	7日	単
		ダントツ水溶剤	2,000倍	7日	単
		コルト顆粒水和剤	3,000倍	7日	単
		アプロードエース70アブル	1,000倍	14日	単
		ハチハチ乳剤 (劇)	1,000倍	14日	単
2番茶萌芽期	炭そ病、もち病 ウンカ、スリップス	オンリーワンフロアブル	2,000倍	7日	混
		ウララDF	1,500倍		
5月中旬 ~6月初旬	クワシロ カイガラムシ	アプロードエース70アブル	1,000倍	21日	単
		スプラサイド乳剤 (劇)	1,500倍	14日	単
		コルト顆粒水和剤	2,000倍	7日	単
2番茶整枝後	ハマキムシ類	サムコルフロアブル	2,000倍	3日	単

※ チャノトゲコナジラミは、各地区で多発生の状況です。成虫の発生を見たら必ず防除実施を！
成虫発生が少なくなった5月下旬頃から防除適期になりますので各自圃場を確認し防除に努めて下さい。
裾の葉が黒くなっている圃場については、必ず早期から防除を実施する様に努めて下さい。

【2茶肥】(時期) 1茶摘採後~10日 (施肥量) 化成肥料3~4袋/10a

東部営農経済センターだより 平成30年5月20日発行

柑橘

【防除】

品 種 名	時 期	病 害 虫 名	農 薬 名	使用 倍 率
温州みかん	6月中旬	ミカンハダニ	マシン油乳剤(97%)	150倍
		アザミウマ・カイガラムシ	アドマイヤー顆粒水和剤(劇)	10,000倍
		黒点病	エムダイファー水和剤	600倍

品 種 名	時 期	病 害 虫 名	農 薬 名	使用 倍 率
中 晩 柑	6月上旬	かいよう病	ICボルドー412	50倍
	6月中旬	ミカンハダニ	マシン油乳剤(97%)	150倍
		アザミウマ	アドマイヤー顆粒水和剤(劇)	10,000倍
		黒点病	エムダイファー水和剤	600倍

- ◆ 農薬散布時には、緑化促進に『尿素 500倍』を混用散布して下さい。
- ◆ スルガエレガントでホウ素欠乏症が出ている園では『ヨ-ヒB5 800倍』を混用散布して下さい
- ◆ マシン油の散布後3日間は雨にあたらぬように、天気予報に注意し散布する。

【施肥】 夏肥の施用・・・6月15日までに施用

柑橘類にとって一番肥料の吸収が良い時期であり、新梢を充実させ根も発生し伸長に多量の養分を必要とする時期でもあるので、この時期の施用は重要となります。また、施用が遅れると酸高、着色遅れの原因となりますので施用時期は遅れないように実施しましょう。

品 種	肥 料 名
青島	みかん化成1号：5袋/10a または みかん50ペレット：8袋/10a
早生	みかん化成1号：4袋/10a
スルガエレガント	新FTE S604：4袋/10a または スルガペレット：8袋/10a
ポンカン	みかん化成1号：4袋/10a または みかん50ペレット：6袋/10a
不知火・はるみ	みかん80ペレット：6袋/10a

落葉果樹

作物名	散布時期	対 象 病 害 虫	使 用 農 薬	倍 率
梨	6月上旬	黒星病・輪紋病・うどんこ病	ナリアWDG	2,000倍
	6月中旬	ハダニ類	コロマイト水和剤	2,000倍
	6月下旬	ツクイムシ類・クワシロカイガラムシ	バリアード顆粒水和剤(劇)	4,000倍
柿	6月上旬	うどんこ病・落葉病・灰色かび病	オンリーワンフロアブル	2,000倍
		アザミウマ・カメムシ類	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍
	6月中旬	落葉病・炭疽病	ベンレート水和剤	2,000倍
		カキノハタムシガ・チャノキイロアザミウマ	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍
	6月下旬	落葉病・うどんこ病	ベルコート水和剤	1,500倍
キウイ	6月上旬	果実軟腐病	ダコニール1000	1,000倍
		キイロマイカガ・キウイヒメヨコハシ	アグロスリン乳剤(劇)	2,000倍
	6月中旬	果実軟腐病	ベルコート水和剤	1,000倍
6月下旬	カメムシ類	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	
	果実軟腐病	ベンレート水和剤	2,000倍	

水稻

1、元肥 田植え前1週間以内に施用する

コース 品種	化成コース	省力コース（一発肥）		配合コース	
ひとめぼれ	マップ 202	1.5袋	ユーコートⅢ型	2.5袋	元肥ペレット 3袋
キヌヒカリ		2袋	ナイスアップシリカ	3袋	
コシヒカリ		1袋	エココシ18号	2袋	
ヒノヒカリ		2袋	ナイスワンパワー	2.5袋	
きぬむすめ		2袋	ナイスワンパワー	2.5袋	
あいちのかおり		1袋	エムコート045	2袋	

2、初期防除（箱粒剤） これで7月末ごろまで防除不要！

コース	薬剤名 50g/箱	いもち病	紋枯病	もみ枯細菌病	白葉枯病	ウンカ類	イネツトムシ	イネミスソウムシ	イネドロオイムシ	コブノメイガ	ツマグロヨコバイ	ニカメイチュウ
いもち重点	Dr.オリゼパディート粒剤	●						●	●			●
紋枯重点 (ツマグロヨコバイ)	フルターボ箱粒剤	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
省力化	ツインターボ箱粒剤08 (覆土前から使用可)	●		●	●	●		●	●		●	

※ 移植数日前に均一散布し、灌水を行って薬剤成分を十分に吸わせる。

▲ きぬむすめの縞葉枯病（ヒメトビウンカ）に注意 ▲

近年、きぬむすめにおいてヒメトビウンカによって媒介される縞葉枯れ病が確認されております。感染したイネは新葉が細くなって巻いたまま垂れ下がって枯れあがります。

対策として早期（6月）に防除を行います。（以下薬剤例）

○トレボン乳剤 2000倍 14日前 3回以内

○スタークル 3000倍 7日前 3回以内



1、ジャンボタニシ対策（スクミリンゴガイ）

スクミノン 1~4kg/10a（移植後 収穫60日前まで2回）

・田植え直後を浅水管理にすることで被害が減少

2、田植機の調整

- (1) 植付け株数 … 70株/坪
- (2) 植付け本数 … 3~5本/株（早く分けつし、太い茎をつくる）
- (3) 植付け深さ … 2~3cm（浅植えにし、早期の活着や茎数の確保を促す）

3、水管理

- (1) 田植後~活着 … 水深4~6cm程度の深水とし、活着をうながす
☆ジャンボタニシの発生が多い場合は浅水管理がよい
- (2) 活着後 … 水深2~4cm程度の浅水（ガス抜きは1~2日間落水する）

4、除草剤

- ① 代かきはていねいに行ない、田面を均一にする
- ② 処理後は田に入らない！（一週間）
- ③ 処理後は田面が露出しないように水管理。（ガス抜きは1~2日行う）
1kg・フロアブル剤 = 3~5cm ジャンボ・豆つぶ剤 = 5~7cm
- ④ 薬剤の処理時から、必ず7日間は水尻を閉じ、かけ流しをしない！

除草剤を上手に効かせるポイント！

(1) 一発処理剤（10aあたり）

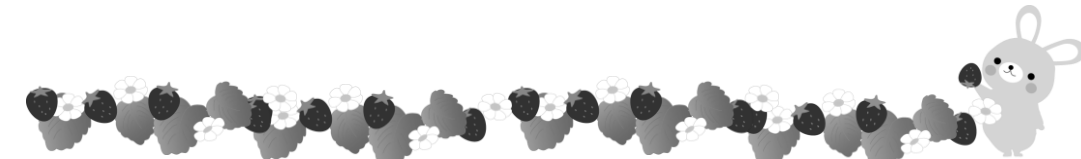
フォーマット1キロ粒剤51	1kg	移植直後~30日（ノビエ3.0葉まで）
ウィナー1キロ粒剤51		移植直後~30日（ノビエ2.5葉まで）
キマリテ1キロ粒剤		移植直後~30日（ノビエ3葉まで）
キクトモ1キロ粒剤		田植直後~12日頃（ノビエ2.5葉まで） （藻殺効果のある1発剤）田植後
ミスターホームランLジャンボ	500g	移植後3~10日（ノビエ2.0葉まで）
ガンガン豆つぶ250	250g	移植後3日~30日（ノビエ2.5葉まで）

(2) 体系処理（水持の悪い田んぼでは体系処理を行ってください）

初期剤→中期剤→後期剤を組み合わせて散布する

田植前	サキドリEW	500ml	代かき後、田植えまで7日前あける
中期剤 (田植後)	1発処理体系（上記）の 1kg粒剤を使用する。	1kg	田植後15~20日頃

いちご



親株管理（炭そ病対策）

- 資材はイチバン（500~1,000倍、瞬時浸漬）で消毒したものを用いる。
- 雨よけ下の管理を基本とし、風通しの良い環境をつくる。（ハウスのツマ、サイドを外す等）
- ランナーが密植とならないように誘引する。
※親株の古葉やわき芽の整理をし、風通しを良くする。またランナーの側枝は除去する。
- 怪しい株は見つけ次第、近くの株とともに除去する。
- 苗の管理は晴天時に行う。管理後は傷口を乾かしてから薬剤の予防散布をする。

たんそ病ローテーション例

時期	薬剤	倍率	回数	混用可能薬剤
5月4週目	アントラコール（顆水）	500倍	6回	エコピタ（液）
6月1週目	オーソサイド80（水）	800倍	3回	コルト（顆水）
6月2週目	デラン（フ）	1,000倍	2回	エコピタ（液）
6月3週目	キノドロー（フ）	500倍	3回	プレオ（フ）
6月4週目	ゲッター（水）	1,000倍	3回	ポリオキシソル（水溶）

土壌分析のお知らせ

- 受付：平成30年6月22日（金）まで
- 提出先：最寄りの支店または営農センター
- 試料：風乾した土200g（茶碗1杯程度）1mm目のふるいに通す
- 記載事項：住所・氏名・電話番号・作物名・施設/露地など
- 試料の採り方：圃場の四隅と中央の土（表面の土は除く）を採取し、混ぜる。

